

四中たより



学校教育目標

進もう
学ぼう
励もう

おおらかに
うるわしく
たくましく

Love 四中! We Love 四中!!
ここが未来への出発点

2 主体的に「学ぶ力」を発揮しましたか? … 学びは「よい環境」から

時間がタイトな中でも取り組み自治意識を高めた「班会・班長会・拡大班長会」と「生徒運営委員会」。結果の見える化と対策の実践でより意識を高めています。学校評価では、清掃を頑張っている人が92%もいます。清掃強固習慣の結果でも、全て95%以上の達成率。また、体育委員会では、コロナ対策を確実にして体育館使用を再開しました。「オールAが四中では当たり前」という意識をつないでいきましょう。



当り前のことができることは立派な力です。

自分達の課題に気づき、自分たちの話し合いを通して取り組みを考え、実践し、学年や全校でその成果を共有しました。主体的な取り組みこそが、「四中スタンダード」の一つです。

日々授業参観しますが、3年生の授業への取り組みは、まさに真剣そのもの。希望の進路実現に向けた熱い思いが、その学ぶ姿から伝わってきます。さすが3年生です。

今年も四中では、市松T字のグループで「聞き合い・学びあい」の授業に取り組んでいます。一人ひとりが自分の考えを出し合い、聞き合いながら問題を解決していくスタイルです。川南の小学校でも同じように取り組みを進めています。今年は小学6年生が四中を訪問し、中学校の授業を体験する機会がありました。四中生の授業スタイルや真剣に学ぶ姿、落ち着いた生活環境を体験するためです。「早く四中に通いたい」との声がたくさんありました。小学生も憧れる四中生になりたいものですね。

2月にある「6年生の四中訪問」の企画運営をする1学年の皆さん、大いに期待していますよ。仲間と共に学びを深め、広げる取り組みもまた、「四中スタンダード」の一つです。3学期も全校で取り組みを重ねて行きましょう。



3 ステージ5「新たな決意」 決意 = 覚悟

「自らの夢や願いをもって取り組む節目にしよう」挑戦する力

後期2学年生徒会が「3年生への合格応援メッセージ」を作成し、3年生の各教室前に掲示しています。とても嬉しい取り組みです。

そして今、執行部では「We ♥️ 四中ワード」の企画を進めています。

来年に取り組みたい事を漢字一文字で表現したカードで四中愛を高める全校制作です。願いは、コロナ禍でも一人ひとりが願いや目標をもって前に進もう。そして、互いに励まし合って取り組み、絆を深めようとするものです。何事にも「ポジティブシンキング」で取り組む姿に感心しています。完成がとても楽しみです。

さて1を足していくといくつになるでしょう? 1+1+1+...=? 答えは、無限大「∞」です。確実な一歩を重ねることが、大きな成果をもたらすのです。ゼロ「0」のときや、マイナス「-1」のときもあるでしょう。しかし、+1を重ねることで、取り返すことができます。1+1+...を重ねた人にはかないませんね。

夢や目標を持つ人とそうでない人では、日々の過ごし方が違ってきます。

目標があるから頑張れる。自分の意思が自分の歩みを進めるのです。

新たな年を迎え、一つ上の学年へと成長できる力を蓄えてきてください。



放送による二学期終業式でお話した内容を紹介します。

夏から秋、冬へと駆け抜けてきた88日の二学期。猛暑でもクーラーが教室に設置され、例年よりは過ごしやすくなりました。梅雨前線の影響で、最上川中流域が氾濫した7月末。9月上旬には、酒田で過去最高の雨量を記録し、庄内でも被害が出ました。新執行部では歳末助け合い募金を行い、皆さんから多くのご協力をいただきました。ありがとうございます。



そしてまだまだ続くコロナ禍。全国では昨日3,736人と過去最多を更新。県内の累計感染者は、昨日で345人。一ヶ月前の3倍超に拡大。発症者の家庭内や職場内の感染拡大。医療体制も深刻な状況であり、医療従事者の方々の献身的な取り組みも限界にきていると聞きます。

大切なことは、学校や家庭内にウイルスを持ち込まないこと。まずは、登校したら手指消毒とマスク着用の徹底です。三学期も安心・安全のためにお願いします。

話は二学期の振り返りを2つ、新たな取り組み1つです。



1 主体的に「関わる力」を発揮しましたか?

残暑の中、どのクラスも熱く燃えた「スポーツフェスタ」。木々が色づく頃、仲間とともに感動の歌声を響かせた「文化フェスタ」今年も学年別の発表でしたが、リモートで全校生徒がつながりました。行事のたびに、真剣に取り組む方を話したり、諦めずに互いを励まし合ったりして練習を重ねましたね。大切なものは、この取り組みの過程にあるのです。

白鳥の飛来する頃、来年の四中生徒会を背負って立つ意志を堂々と表明した「生徒会立会演説会・選挙」。2学年の「立志式」では、来年四中を背負う覚悟も見えました。一つひとつが434名の生徒の協力や支えがなくては成り立たない大切な取り組みでした。皆さんの確実な成長を心から嬉しく思います。

「仲間がいるから頑張れる」のです。仲間と関わり合い、願いを共有して取り組むからこそ、感動や絆が生まれるのです。そして、「あかとう」言葉が絆を強くします。よりよき酒四中をめざし、「ありがとう」の言葉を添えて、「関わる力」を高めましょう。

